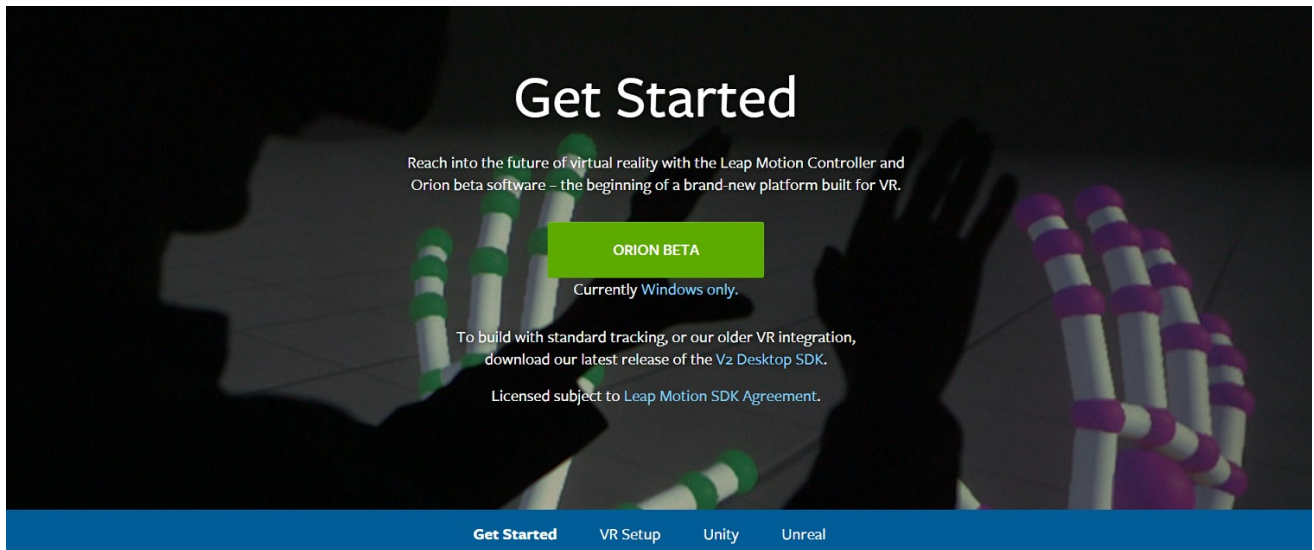


■ SDKのインストール手順

Leap Motionのインストールができれば、SDKをインストールします。

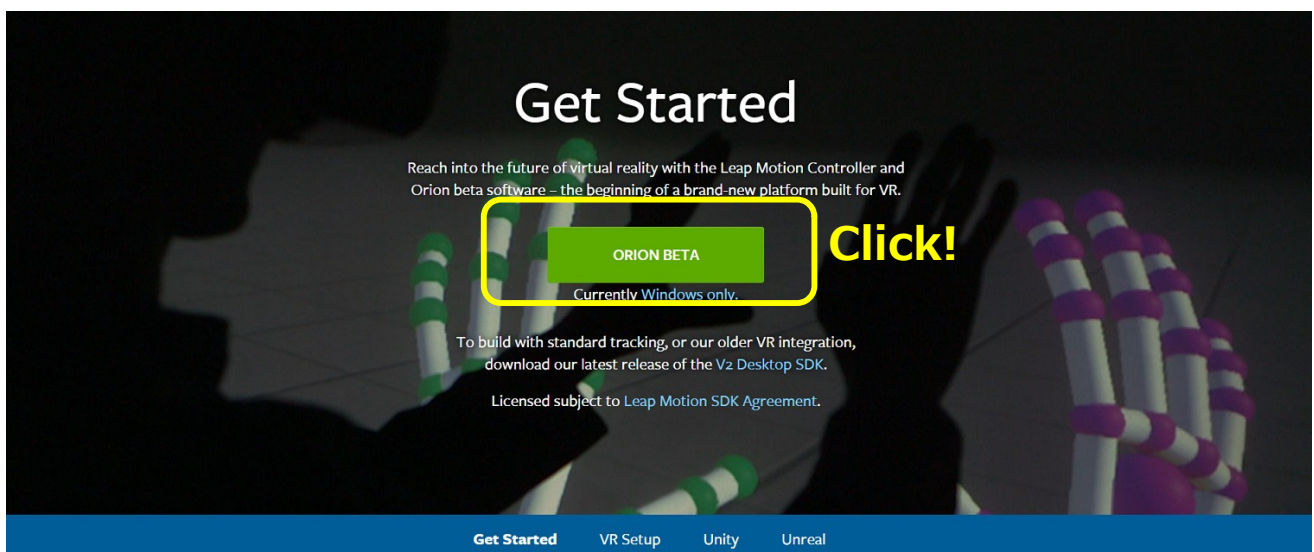
① 次のサイトにアクセスします。

<https://developer-archive.leapmotion.com/get-started?id=v3-developer-beta&platform=windows&version=3.2.1.45911>



② 2021年冬時点での最新バージョンV3(別名:ORION)のSDKを、ダウンロードします。

※ダウンロードには数分かかるため、バックグラウンドで次のProsscingの準備をおすすめします。



③ダウンロードファイル『LeapDeveloperKit_3.2.1_win.zip』を解凍して、実行準備します。

右Click!

Click!

圧縮ファイルの解凍には、解凍ソフトが必要。
端末内になければ、個別に入手ください。

開く(O)
新しいウィンドウで開く(E)
Skype で共有
すべて展開(T)...
スキャン(V)
KSNの評価を見る
スタートメニューにピン留めする
共有
プログラムから開く(H) ...
アクセスを許可する(G) >
以前のバージョンの復元(V)
送る(N) >
切り取り(T)
コピー(C)
ショートカットの作成(S)
削除(D)
名前の変更(M)
プロパティ(R)

補足

ものづくりでは、様々なファイルをダウンロードしたり、それを解凍・実行します。ダウンロードの度に、フォルダ整理するのを心がけましょう。

圧縮 (ZIP 形式) フォルダの展開

展開先の選択とファイルの展開

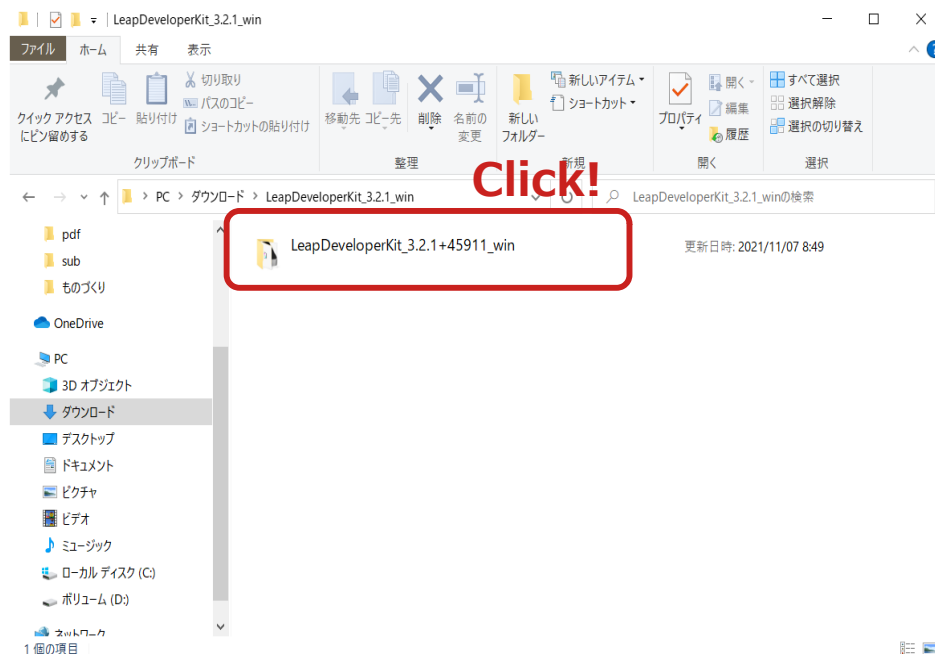
ファイルを下のフォルダに展開する(F):
C:\Users\Wada\Downloads\LeapDeveloperKit_3.2.1_win 参照(R)...

展開(E) キャンセル

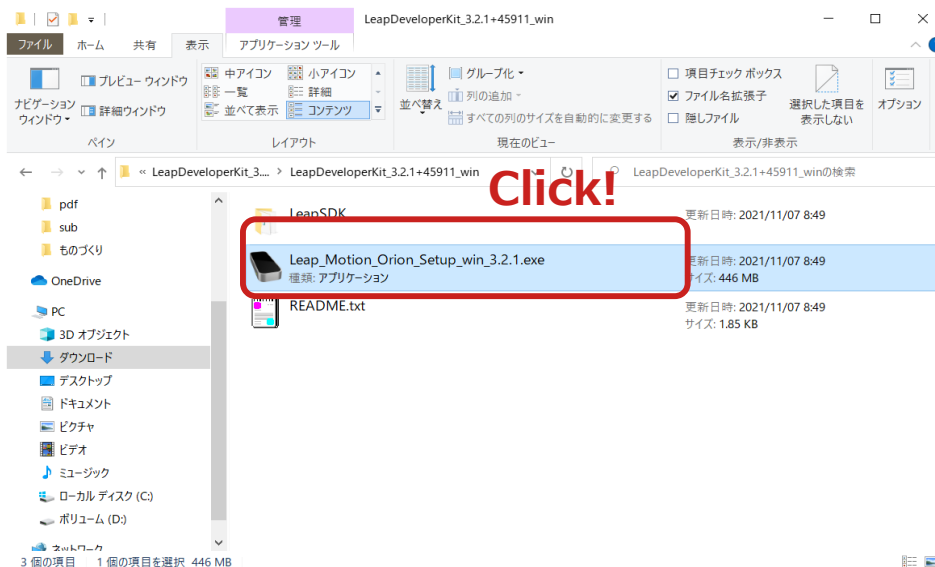
ダウンロードフォルダの中身が煩雑だと
情報整理も困難になりがちです。
注意しましょう。

インストール済みや、インストールしなかった
ファイルが混在していると
段々とわけがわからなくなる...

④解凍した『LeapDeveloperKit_3.2.1+45911_win』フォルダ内に、エクスプローラー上で移動します。

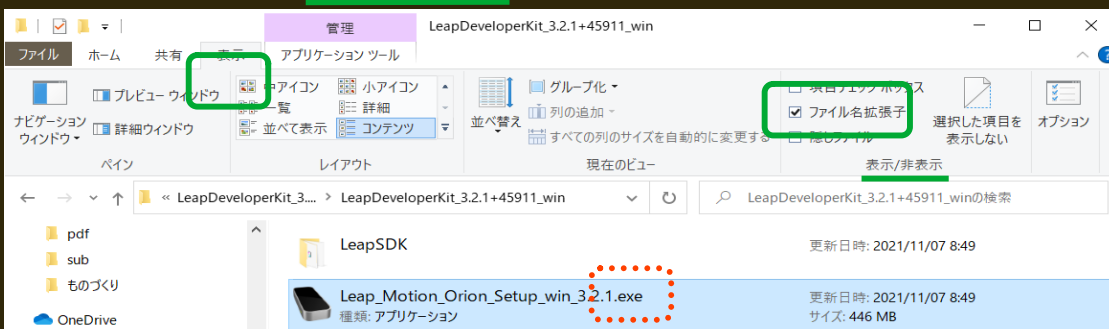


⑤『Leap_Motion_Orion_Setup_win_3.2.1.exe』を実行します。



注意

エクスプローラーの表示タブ→表示非表示グループの、『ファイル名拡張子』のチェックをONにしてください。

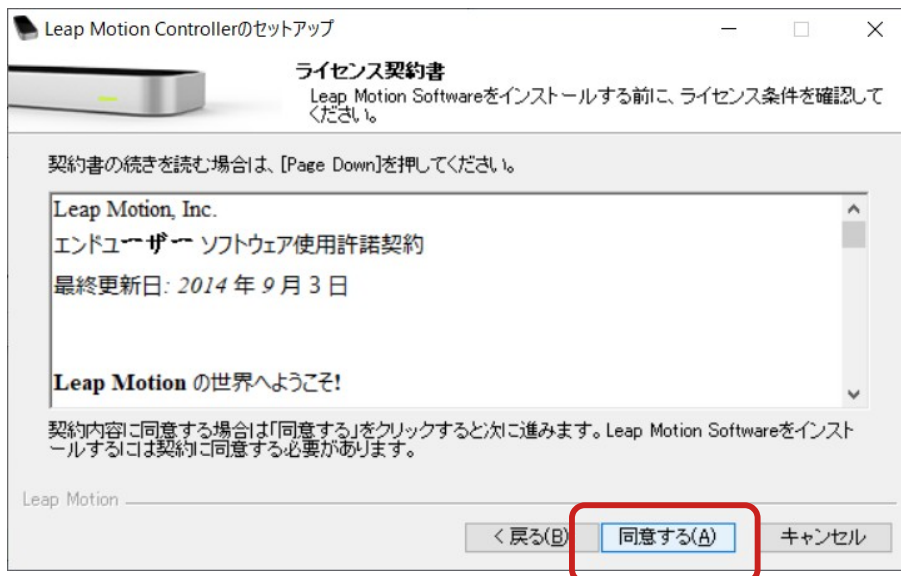


ONだと、拡張子が確認できます。

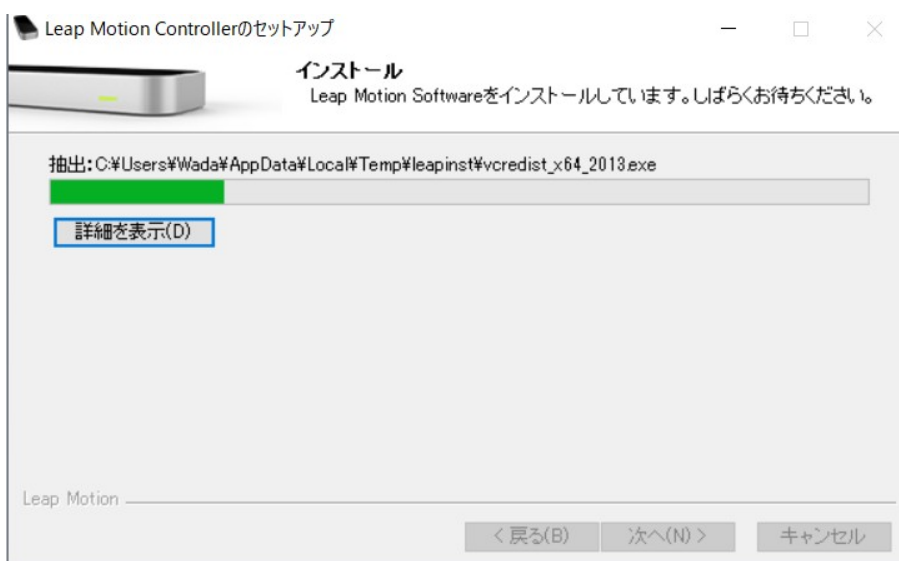
⑥セットアップが開始します。



⑦ライセンス許諾を一読し、問題なければ次に進めます。



⑧様々なパッケージが、自動でインストール開始します。終わるまで、数分待ちます。



⑨インストールが終わったら、『完了』をクリックします。



※『完了』クリック後、開発画面が表示されますが、クローズして問題ないです。

しかしこのタイミングで表示されるということは、LeapMotionを使うのに有益な情報が記載されたサイトということです。できれば、一読するのをおすすめします。

⑩SDKのインストールは、これで終了です。

ちなみに、SDKとは？

ソフトウェア開発キット(**Software Development Kit**)の意味。

少ない労力でアプリケーションを開発できるようにするために、プログラム・API・サンプルコードなどをパッケージにしたものの総称です。

開発者は、このパッケージを使えば、機能を実現する技術の詳しい仕組みを理解していなくても、アプリケーションに新機能を実装することができます。

さまざまなソフトウェアベンダーが独自のSDKを提供し、自社製品と他のアプリケーションを簡単に連携できるよう支援しています。無償のものが多いのは、そのためです。

APIと混同しがちですが、APIはアプリケーションにおける複数のコンポーネントを橋渡しする役割のツールやプロトコルのをまとめたものです。SDKは、APIもパッケージングしていることがあります。